

伝えたいメッセージは何だろう。
伝えるべきメッセージは何だろう。
どのようにして伝えればいいのか。

世界中の子どもたちが環境問題をテーマに描いた
『国連子供環境ポスター原画コンテスト』の応募作品を使い、
立命館小学校の5年生20名が展覧会をつくります。

学芸員になってみた子どもたちは、
何を感じ、何を学ぶのだろうか。



子どもたちがつくる 世界環境ポスター展

2009年2月7日(土)・8日(日) 非公開
Workshop 10:00~15:30

2009年2月11日(水・休日) 公開
Exhibition 10:00~15:30

場所：立命館小学校 メディアセンター(図書室) 前廊下(B1F)

主催：人間文化研究機構・総合地球環境学研究所・立命館小学校

協力：国立民族学博物館

子どもたちがつくる 世界環境ポスター展

CAST

立命館小学校 第5学年児童 20名
荒木貴之（立命館小学校 教頭）
佐藤優香（国立歴史民俗博物館 助教）
吉田憲司（国立民族学博物館 教授）
阿部健一（総合地球環境学研究所 教授）
秋道智彌（総合地球環境学研究所 副所長）



『国連子供環境ポスター原画コンテスト』は、地球環境平和財団（東京）と国連環境計画（ナイロビ）などが主体となって、国連の地域本部の協力を得て、日本だけでなく世界中の子どもを対象に行っている事業です。

年に一度、環境問題に関わるテーマを掲げ募集を行い、審査の上、優秀作は国連のカレンダー、絵葉書などに採用されるほか、世界各地で国連が行う環境に関わる催し物の折に展示されています。

コンテストの全応募作は20万点（100ヶ国）を超え、これまで全応募作品が国立民族学博物館に寄贈されてきました。地域・民族ごとに子どもたちの環境・自然に関する考え方が反映されている貴重な資料で

すが、次年度より同じ人間文化研究機構の総合地球環境学研究所に移管されることになっています。

今回のワークショップは、人間文化研究機構の関連する研究者と教育の現場の先生方が協働して、この機会にあらためて貴重な資料を活用しようという企画です。環境問題を、世界の子どもたちの視点に着目しながら、地域ごとに異なる文化の問題としてとりあげることが目的です。さらに、ポスター展示という作業に参加することにより、子どもたちが文化の問題としての環境問題の地域理解を深めることを期待しています。

ワークショップ全体スケジュール

2月7日

ワークショップ1日目

10:00～15:30 ※非公開

あらかじめ選ばれた応募ポスター80点程度の絵の中から、児童たちが数点ずつ絵を選択し、何が描かれているか、絵にこめられた作者のメッセージを読み取る。展覧会のコンセプトを自分たちで考え、テーマに沿って絵を選ぶ。

2月8日

ワークショップ2日目

10:00～15:30 ※非公開

テーマに従って展示スペースに絵を展示する。
一般公開・ギャラリートークに向けた準備を行う。

2月11日

展示の一般公開

10:00～15:30

保護者・教育関係者への公開を行う。
児童たちによるギャラリートーク（随時）、
児童による展覧会づくりの報告（アクトシアター定員：260名 11時～・14時～（予定）。

※展示の一般公開に来られる方は、下記の申し込みシートに記入の上、切り取って当日受付でお渡し下さい。

問い合わせ先：総合地球環境学研究所 研究推進戦略センター（担当：菊地） TEL 075-707-2459

きりとり

design by Yuri Miyake

子どもたちがつくる世界環境ポスター展 申し込みシート

団体名

ふりがな
氏名

住所